

令和6年度 数学科 第2学年 年間指導計画

- (1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式，平面図形と数学的な推論，一次関数，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力，数学的な推論の過程に着目し，図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表式，グラフを相互に関連付けて考察する力，複数の集団のデータの分布に着目し，その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。

月	単元名(章・節及び項)	時数	ねらい	評価規準			学習指導要領
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
4	1章 文字式を使って説明しよう [式の計算] (15 時間)	15	○簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をする。	・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり，式の意味を読み取ったりする。	・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて，整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	<とびら> スタート地点の差は何 m?						A 数と式(1) ア(ア)(イ), イ(ア)
5	1節 式の計算 ① 多項式の計算 ② 単項式の乗法と除法 基本の問題	(8) 5 2 1	○具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり，式の意味を読み取ったりする。				
	2節 文字式の利用 ① 式による説明 深い学びのページ ② 等式の変形 基本の問題	(6) 3 1 2	○文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解する。				A 数と式(1) ア(ウ)(エ), イ(イ)
	章の問題 A	(1)	○具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて，整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現する。				
	章の問題 B p.56回 ★他教科関連(技術・家庭) p.56㊦ ★他教科関連(技術・家庭)	—	○文字を用いた式を具体的な場面で活用する。				
	2章 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式] (12 時間)	12	○二元一次方程式とその解の意味を理解する。	・2元1次方程式とその	・1元1次方程式と関連付	・連立2元1次方程式の必要	

	〈とびら〉 決めたシュートの本数は？		○連立二元一次方程式の 必要性和意味及びその解 の意味を理解する。	解の意味を理解してい る。	けて、連立 2 元 1 次方程式 を解く方法を考察し表現す ることができる。	性と意味を考えようとしている。	A 数と式(2) ア(ア)(イ)(ウ), イ (ア)
6	1節 連立方程式とその解き方 ① 連立方程式とその解 ② 連立方程式の解き方 ③ 色々な連立方程式 基本の問題	(7) 2 3 2	○簡単な連立二元一次方 程式を解く。 ○一元一次方程式と関連 付けて、連立二元一次方 程式を解く方法を考察 し 表現する。	・連立 2 元 1 次方程式 の必要性和意味及びそ の解の意味を理解して いる。 ・簡単な連立 2 元 1 次 方程式を解くことができ る。	・連立 2 元 1 次方程式を活 用して具体的な場面を考察 し表現することができる。	・連立 2 元 1 次方程式につい て学んだことを生活や学習に 生かそうとしている。 ・連立 2 元 1 次方程式を活用 した問題解決の過程を振り返 って検討しようとしている。	A 数と式(2) イ(イ)
	2節 連立方程式の利用 ① 連立方程式の利用	(4)					
	章の問題 A	(1)	○連立二元一次方程式を 具体的な場面で活用す る。				
	章の問題 B	—					
7	3 章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数] (19 時間)	19	○一次関数について理解 する。	・1 次関数について理解 している。	・1 次関数として捉えられる 2 つの数量について、変化 や対応の特徴を見だし、 表、式、グラフを相互に関 連付けて考察し表現するこ とができる。	・1 次関数の必要性和意味を考 えようとしている。	
	〈とびら〉 中火と強火、どちらで沸かす？ 1節 1 次関数 ① 1 次関数	(2)	○事象の中には一次関数 として捉えられるものがある ことを知る。	・事象の中には 1 次関 数として捉えられるもの があることを知っている 。	・1 次関数を用いて具体的 な事象を捉え考察し表現す ることができる。	・1 次関数について学んだこと を生活や学習に生かそうとし ている。	C 関数(1) ア(ア)(イ)
	2節 1 次関数の性質と調べ方 ① 1 次関数の値の変化 ② 1 次関数のグラフ ③ 1 次関数の式を求める方法 基本の問題	(8) 1 3 3 1	○二元一次方程式を関数 を表す式とみる。 ○一次関数として捉えられ る二つの数量について、 変化や対応の特徴を見い だし、表、式、グラフを相互 に関連付けて考察し表現 する。	・2 元 1 次方程式を関数 を表す式とみることがで きる。 ・1 次関数の変化の割合 やグラフの切片と傾きの 意味を理解している。 ・1 次関数の関係を表、 式、グラフを用いて表現 したり、処理したりするこ とができる。		・1 次関数を活用した問題解決 の過程を振り返って検討しよ うとしている。	C 関数(1) イ(ア)
	3節 2 元 1 次方程式と 1 次関数 ① 2 元 1 次方程式のグラフ ② 連立方程式とグラフ 基本の問題	(4) 3 1	○一次関数を用いて具体 的な事象を捉え考察し表 現する。				C 関数(1) ア(ウ)
9	4節 1 次関数の利用 深い学びのページ ① 1 次関数とみなすこと ② 1 次関数のグラフの利用 ③ 1 次関数と図形	(4) 1 1 1 1					C 関数(1) ア(イ), イ(イ)
	〈学びをひろげよう〉 桜の開花日を予想しよう	—					
10	章の問題 A	(1)					

	章の問題 B	—					
	4 章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同] (15 時間)	15	○平行線や角の性質を理解する。	・多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。	・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ、説明することができる。	・証明の必要性和意味及び証明の方法を考えようとしている。	
	<とびら> どんなことが書かれているのかな？ 1 節 説明のしくみ ① 多角形の角の和の説明	(3) 3	○多角形の角についての性質が見いだせることを知る。	・平行線や角の性質を理解している。		・平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	B 図形(1) ア(イ)
	2 節 平行線と角 ① 平行線と角 ② 深い学びのページ ③ 基本の問題	(5) 3 1 1	○基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明する。	・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。		・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	B 図形(1) ア(ア), イ(ア)
	3 節 合同な図形 ① 合同な図形の性質と表し方 ② 三角形の合同条件 ③ 証明の進め方 ④ 基本の問題	(6) 1 2 2 1	○平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解する。	・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。			B 図形(2) ア(ア) (イ)
	章の問題 A	(1)					
	章の問題 B	—					
11	5 章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形] (21 時間)	21	○三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりする。	・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。	・三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。	・証明の必要性和意味及びその方法を考えようとしている。	
	<とびら> 直角にラインをひくには？ 1 節 三角形 ① 二等辺三角形の性質 ② 二等辺三角形になるための条件 ③ 直角三角形の合同 基本の問題	(8) 3 2 2 1	○三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用する。	・定義やことからの仮定と結論、逆の意味を理解している。	・証明を読んで新たな性質を見だし、表現することができる。	・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	B 図形(2) イ(ア) (イ)
12	2 節 平行四辺形 p.150 ★他教科関連(技術・家庭)	(12)		・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。	・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。	・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	B 図形(2) イ(ア) (イ)
1	① 平行四辺形の性質 ② 平行四辺形になるための条件 ③ 特別な平行四辺形 深い学びのページ ④ 平行線と面積 基本の問題	3 4 2 1 1 1			・ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。		

2	章の問題 A	(1)					
	章の問題 B	—					
	6 章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率] (9 時間)	9	○多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解する。 ○簡単な場合について確率を求める。	・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。	・同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ・確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。	・場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 ・不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	〈とびら〉 くじをひく順番は？						D データの活用(2) ア(ア)(イ), イ(ア)
	1 節 確率	(6)					
	① 同様に確からしいこと	3					
	② いろいろな確率	2					
	③ 基本の問題	1					
	2 節 確率による説明 深い学びのページ	(2)	○同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現する。 ○確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現する。				D データの活用(2) イ(イ)
	① 確率による説明	1					
	章の問題 A	(1)					
	章の問題 B	—					
	7 章 データを比較して判断しよう [データの比較] (5 時間)	5	○四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解する。 ○コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表す。 ○四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断する。	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 ・データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	D データの活用(1) ア(ア)(イ), イ(ア)
	〈学びをひろげよう〉 コンビニのデータ活用						
	章の問題 A	(1)					
	章の問題 B	—					
3	予備時間	9					
	数学の自由研究						

	・17 段目のふしぎ ・テーブルマジック ・アメリカ ホームステイ p.204 ★他教科関連(英語) ・四角形の変身 ・図形の性質を見つけよう ・パスカルとフェルマーの手紙【発展】 ・点字を読んでみよう	—					
	合計	105					